

# 2023年度 事業報告書

自 2023(令和 5)年4月 1日  
至 2024(令和 6)年3月 31日

一般社団法人 京都ボランティア協会

## 京都ボランティア協会 2023(令和5)年度 事業報告

### 目次:

#### <組織・運営>

##### I 法人本部事業

- (1) 組織カバナンス強化とコンプライアンスの徹底
- (2) 健全な財務運営
- (3) 広報事業の推進
- (4) 適正な労務管理の実施

1ページ

#### <事業>

##### I ボランティア推進事業

- (1) ボランティア活動に関する相談及びコーディネート
- (2) ボランティア活動に関する援助及び交流
- (3) ボランティア活動に関する広報
- (4) ボランティア活動に関する研修
- (5) ボランティア活動に関する研究
- (6) 地域における社会福祉の推進
- (7) 企業・労働組合の社会貢献活動の推進

2ページ

##### II 福祉サービスの調査・評価事業

- (1) 調査・評価事業企画運営委員会の定例開催
- (2) 地域密着型サービス外部評価事業の推進
- (3) 介護サービス第三者評価事業の充実
- (4) 調査・評価事業の理解を深めるために「公開講座」を開催
- (5) 調査者の研修を推進と新規調査者の開拓確保

3ページ

<組織・運営>

【1.組織・運営体制】

事業項目	事業目的	事業内容	取り組みの成果と今後の課題
I 法人本部事業	(1) 組織力パナ ンス強化とコン プライアンスの徹 底	・理事会の定期開催(奇数月・年4回)と総会の開催(6 月・年1回) ・役員(理事・監事)による協会運営の安定化と発展	・役員改選もあり、理事会は6月、10月、1月、3月と年 間4回開催した。
	(2) 健全な財務 運営	・会員会費の増強寄付金品の受入れ増加 ・会員データの適正管理と会員拡大に向けて方策の推 進 ・(仮)「財源開発推進委員会」の設置運営	・まず財務の収支では、会費収入が7,000円の減少、 受取寄付金は424,406円増加している。また、援助交 流事業では153,995円、調査収益事業では 893,432円の増加、結果収益は17,132,495円で、 対前年度比899,584円の増加した。 ・人件費支出については169,474円の増加。広報費が 260,640円増加しているが、広報費については当協 会のPR動画作成等、新しい取り組みをしている結果の 支出である。研修・新聞図書費は148,800円減少し た。外部評価、第三者評価の養成研修費の支払が減少 している結果である。 ・最終的に事業費は13,820,214円、管理費 4, 046,240円で、合計17,866,454円となった。 ・総合した決算としては、収益が17,132,495円、対す る費用支出が17,866,454円で、正味財産増減額は △733,959円となった ・(仮)「財源開発推進委員会」の設置運営を模索した が残念ながら、実現するに至らなかった。今後改めて広 報を強化し会員会費や寄付金の増加を目指していく必 要がある。
	(3) 広報事業の 推進	・「京ボラチャンネル検討委員会」を改組した、(仮)「情報 活動推進委員会」の設置運営 ・広報紙「ボラタス」の定期発行(6月、9月、12月、3 月) ・ホームページの開設と広報・広聴の推進 ・「京ボラチャンネル」(youtube)による「京ボラトーク」 をはじめとした動画配信 ・リーフレットの新規製作と活用による、きめ細やかな広 報の推進 ・ボランティア活動や講座の情報の提供 ・公式SNSを立ち上げ、ボランティアに関する意見交流 や情報交流の場の形成をめざす	・「広報・ICT推進委員会」を5月、8月、12月、2月に会 議を持ち、これからの広報戦略と戦術を話し合うことが できた ・広報紙「ボラタス」を定期発行(4月、8月、12月、3 月)することができたが、ホームページ同様内容の充実 が望まれる ・「京ボラチャンネル」の内容は豊富で充実しているも の、視聴者が伸びを示していない現状がある中、 「きょうボラふれあい祭」に参加した学生ボランティア の座談会収録を行った。協会のPRビデオ を「きょうボラふれあい祭」実行委員会の協力で収録し た。 ・リーフレットについては、新しい内容に切り替え、各種 の送付物に同封する等して活用している。公式SNSの 立ち上げについては、「広報・ICT推進委員会」において 計画的に進めていくこととしている
	(4) 適正な労務 管理の実施	・的確な労務管理による職員の労働意欲の向上を図る ・安心して働ける業務サポート体制を確立する ・業務分掌を明確化した上で、各担当業務の相互サポ ート体制を確立する	・正規職員が不在の中、4名の嘱託職員と臨時職員、ま たボランティアの協力により、ボランティアビューロー の管理を賄っているが、労働環境は調査・評価事業を はじめ厳しいものがある。但し、各担当業務の相互サ ポート体制は整いつつある。

【2. ボランティア推進事業】

事業項目	事業目的	事業内容	取り組みの成果と今後の課題
I ボランティア推進事業	(1) ボランティア活動に関する相談及びコーディネート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアコーディネート事業は、相談内容が多岐にわたる特質があることから、情報の収集に取り組む</li> <li>・「わの会 京都」の活動による在宅高齢者宅へ訪問、話し相手をするボランティア活動では、介護施設ケアマネジャーからの要請もあり、利用者の拡大に伴ないボランティア要員の人数拡大に向けて取り組む</li> <li>・相談業務から、「わの会 京都」へつなく組織化が連携されており、さらなる「わの会 京都」へのボランティアの養成が必要であることからミニ講座を開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア相談者に対して、体制が充分ではなく、情報収集・管理体制の充実が必要であることから、次年度より、「ボランティア募集サイト」の始動が見込まれる</li> <li>・個々のボランティアニーズへの対応力が弱小なものとなってきていることもあり、個人登録ボランティアの確保への取り組みと、ボランティア活動の充実を図ることによる、個別ボランティアニーズに対応できる体制づくりが必要である</li> <li>・ボランティアビューローの利用拡大、展開を図っていく必要がある</li> <li>・「わの会 京都」ボランティア養成ミニ講座は2月19日、3月11日の2回開催。多数の参加を得て、新規ボランティア獲得に繋げたい</li> </ul>
	(2) ボランティア活動に関する援助及び交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア援助交流の推進</li> <li>・京都市生活困窮者支援団体への活動支援事業助成金により、「ボランティア活動推進委員会」が運営する「コミュニティカフェ はな」の活動が始動</li> <li>・「ボランティア活動推進委員会」の活動として、「府民交流フェスタ」へ参加。</li> <li>・京都府共同募金会及び京都新聞社会福祉事業財団からの助成を得て、「第13回京ボふれあい祭」を開催</li> <li>・「きょうボふれあい祭」実行委員会は、ボランティアを中心に準備段階から企画を重ね、後援・協賛・参加団体や企業との協働・参画の輪の拡大を図る</li> <li>・「わの会 京都」の活動は、独居高齢者を対象とした居宅訪問、話し相手のボランティアとして、拡大・充実が見込まれ、介護施設ケアマネジャーおよび利用者からの好評を得ている</li> <li>・「ちよいボラ」の活動は、個々に困難を抱える人たちの居場所と交流の場づくりを推進</li> <li>・「ボランティア保険」に関しては、継続ボランティア及び当協会会員のボランティアに対してボランティア保険に加入。費用は当協会が負担し、ボランティア活動の安全を図る。また、各種行事ごとに福祉行事保険に加入</li> <li>・「イオン黄色いレシートキャンペーン」の助成により、光洋北大路店での贈呈を受ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コミュニティカフェ はな」の活動は、2023年度から本格稼働し、生活に困窮している人、家を失った人、寄る辺のない人、孤立している人に、笑顔で気楽におられる場所、気楽に会話できる場所、気安く相談できる場所を提供するため、10月より京都市下京区総合福祉センター（中央保護所）にて、月1回活動。今後の利用者拡大を図る</li> <li>・「府民交流フェスタ」は府立植物園において11月3日（祝）に開催。当会は「青空絵葉書工房」と題してオリジナルX'masカード&amp;年賀状作成を企画、出展参加するも、400名超の大盛況を得た</li> <li>・「きょうボふれあい祭」は「ふれあい祭」実行委員定例委員会を毎月最終土曜日に開催。主催：京都ボランティア協会、共催：京都市福祉ボランティアセンターとして開催することで、「ひと・まち交流館京都」館内貸室を無償借用できるようになり、各種後援・協賛・参加団体および前日・当日ボランティアの協力のもと盛会を得た</li> <li>・「きょうボふれあい祭」では各担当からの反省をふまえ、年々新しい企画に取り組み、より充実した「ふれあい祭」を進めていきたい。また、企画段階からの実行委員の充実、前日・当日ボランティアの募集拡大を図っていくことが重要となる</li> <li>・「わの会 京都」では、ボランティアスタッフの養成・充実がより重要な課題となっている</li> <li>・収集ボランティア活動は「ちよいボラ」活動の助力を得て、ウエス・使用済み切手・日常バザー用品の収集を推進。ウエス販売では、需要の伸び悩みがあり、販売努力を検討。使用済み切手の収集は最終的に市社協へ委ねている。また日常バザーでは、季節商品の入れ替え作業等により、ビューローへの集客及びバザー収入も見込まれている</li> <li>・「イオン黄色いレシートキャンペーン」の助成では、ビューローでのボランティア活動の際の茶菓や「ふれあい祭」等の行事に使用する文具を購入し、活用している</li> </ul>
	(3) ボランティア活動に関する広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種行事に関して「ボラタス」、「きょうボふれあい祭」のチラシ、京都新聞「まちかど欄」掲載、HP上での広報を図るとともに、京都府・京都市の関連部署へ配付依頼をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「きょうボふれあい祭」では、ボランティアスタッフの増員を得るため、各方面からの募集を図るとともに、HP上で、学生ボランティアの募集を行うこととしている</li> <li>・「コミュニティカフェはな」では、今後の利用者拡大を図るため、各方面への協力、広報を図る</li> <li>・「ボランティアビューロー」の利用活性化を目指し、拡大、展開を図り、個人や団体が交流する場を充実させる必要がある</li> </ul>
	(4) ボランティア活動に関する研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わの会 京都」へのボランティアの養成が必要であることからミニ講座を開催(再掲)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わの会」ボランティア養成ミニ講座は2月19日、3月11日の2回開催。多数の参加を得た(再掲)</li> </ul>
	(5) ボランティア活動に関する研	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>
	(6) 地域における社会福祉の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同募金運動への協力のため、イベント開催時に募金箱を設置して協力を促す</li> <li>・「令和6年能登半島地震災害義援金」55,284円(1月～3月)を石川県共同募金会に送る。また飲料水788.4リットルを石川県七尾市役所へ京都飲料(株)の協力を得て送る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「令和6年能登半島地震災害義援金」は、ボランティアビューローに募金箱を設置し毎月集計後、送金している。今後も継続予定</li> </ul>
	(7) 企業・労働組合の社会貢献活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業労働組合の協会事業として「ふれあい祭」への参加及び企画等への参画を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふれあい祭」後援・協賛企業へ、祭り前日・当日のボランティアの協力を依頼する</li> </ul>

【3. 調査・評価事業】

<p>Ⅲ 福祉サービス の調査・ 評価事業</p>	<p>(1) 調査・評価事業 企画運営委員 会の定例開催</p>	<p>・市民としての視野を持って、専門的かつ客観的な立場から、介護・福祉・社会的養護等のサービスに公正・中立な評価を行い、より質の高いサービスを実現し、利用者や家族の安心と満足につながることを目指す ・京都介護・福祉サービス第三者評価機関として、調査事業の充実のため、評価調査者の意向の汲み取りや調査員の育成を目指し、調査・評価事業の企画運営に取り組む</p>	<p>・本年度、10回の企画運営委員会を開催し、調査事業の推進・充実を図った ・特に、第三者評価事業介護サービスにおける評価項目改訂に基づき、当該勉強会等を企画し、企画運営委員が人材育成アドバイザーとして、当該勉強会を実施した。併せて、福祉サービス(保育所・障害)に係る評価項目理解の勉強会も実施し、調査員の育成を図った</p>
	<p>(2) 介護サービス 第三者評価事業 の推進・充実</p>	<p>・京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構や受診事業所との調整を行なう ・評価調査員の専門性を基に、公正・中立な立場から介護・福祉サービスの「質の高い評価」を行う。</p>	<p>1 成果 ・本年度受診申込件数 22件 (介護14件、福祉6件、社会的養護関係施設2件) ・前年度繰越件数 0件 ・訪問調査実施件数 21件 ・中止(辞退)件数 0件 ・次年度繰越件数 1件 2 次年度繰越理由 新型コロナウイルスの5類移行後、調査員が勤務する事業所の感染症拡大により濃厚接触者となり、延期調整の結果、訪問調査日が翌年度になった 3 課題 新規評価調査者の確保・拡充が喫緊の課題である</p>
	<p>(3) 地域密着型 サービス外部 評価事業の推進・ 充実</p>	<p>・地域密着型サービス等外部評価の受審事業所との調整を行なう ・評価調査者の専門性を基に、公正・中立な立場から介護・福祉サービスの「質の高い評価」を行う ・コロナ禍の影響の中、オンライン調査が京都府から認められていることから、積極的に活用し進める ・長年培ってきた本会の評価調査者による評価の専門性等の強みを、本会ホームページや「ボランティア」その他の広報媒体を活用して対外的に発信し、本事業の取り組みの理解を広げる</p>	<p>1 成果 ・本年度受審申込件数 51件 ・前年度繰越件数 30件 ・訪問調査実施件数 69件 ・中止(辞退)件数 0件 ・オンラインによる訪問調査件数 2件(年度途中、京都府からオンライン訪問調査終了の指示) ・次年度繰越件数 12件 2 受審申込の特徴 評価機関の増加(3団体⇒4団体)があり、かつ緩和経過措置の本会受診事業所が本年度18所あったことから、例年に比べ受審申込が減少した 3 課題 本年、京都府による評価調査者の新規養成者の養成研修が実施されたが、更なるその確保。拡充が喫緊の課題である</p>
	<p>(4) 調査・評価事業 の理解を深める ために「公開講座」 を開催</p>	<p>・介護・福祉サービス調査から得た各事業所のニーズや取り組みを基に、介護・福祉サービスに係る職員及び一般市民向けの公開講座を、年1回開催する</p>	<p>1 2023年度「公開講座」 ・日 時：令和6年1月27日(土)13:30～15:30 ・場 所：「ひと・まち交流館 京都」2階大会議室 ・テーマ：地域共生社会と福祉・介護施設の役割～「大阪府社協地域貢献事業・大阪しあわせネットワーク」から学ぶ～ ・講 師：大阪府社協大阪福祉人材支援センター部長 片岡哲司氏 ・対談と考察：龍谷大学名誉教授 加藤博史氏 ・成果等：地域共生社会における福祉・介護施設の役割や、当該施設が有する機能の地域への還元の方法を認識し、京都の地域共生社会づくりに向けた福祉・介護施設の役割やその意識を高めることができた (参加者42名、利用者アンケート満足度97%) ・課 題 ①介護・福祉サービスに特化したテーマづくりの必要性 ②集客方法</p>
	<p>(5) 調査者の育成 と資質の向上</p>	<p>・京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構等が実施する介護・福祉サービス評価調査者のフォローアップ研修等への受講機会を積極的にに行い、本会調査者の更なる専門性等の均質化及び向上を目指す ・本会評価調査者の高齢化に伴い、新規評価調査者の拡充が必須の状況から、本会ホームページや機関紙「ボランティア」等の情報媒体を活用し、当該評価調査者を希望する人を募集し、本業務の充実を図る ・評価調査主任増員のため、活動経験が豊富な人材育成を進める</p>	<p>1 成果等 ・介護サービス新規評価調査者養成研修 受講者3名 修了者2名 ・外部評価新規評価調査者養成研修 受講者3名 修了者3名 ・介護サービス評価項目改訂による勉強会(2回) 受講者12名 ・福祉サービス(保育所)評価項目勉強会 受講者7名 ・福祉サービス(障害)評価項目勉強会 受講者4名 ・EXCEL操作(基礎編)勉強会 受講者6名 ・「振り返りの会」の開催 評価調査者の質の向上に資するため、評価調査者及び審査委員を対象に実施した(12名参加) ・「審査委員との意見交換会」の開催 審査委員と評価調査者が各報告書作成にあたって、意見交換を行い、意思疎通を図った ・「実践ガイド」の作成 評価調査者の質の均質化のため、「地域密着型サービス外部評価 訪問調査における実践ガイド」を定期的(1年に1回)見直した ・訪問調査時における評価調査者への勧誘 2 課題 評価調査者の高齢化が進むなか、主任を含む人材育成及び新規評価調査者の確保・拡充が喫緊の課題である</p>

添付資料

I. ボランティア相談について

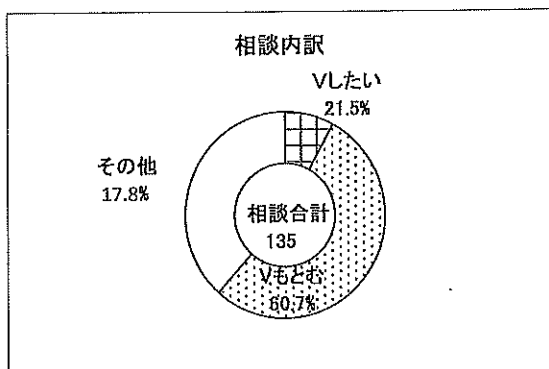
総合計135件(前年度は151件)

〈2023年4月1日～2024年3月31日〉

1 相談

1-①相談内訳

	2023年度	2022年度	2021年度
Vしたい	29	12	18
Vもとむ	82	81	108
その他	24	58	66
計	135	151	192



1-②協会を知った経路

協会を知った媒体など	2023年度	2022年度	2021年度
協会ホームページ	2	13	16
新聞	0	1	0
リピーター	80	83	101
関係団体・者	8	4	2
社会福祉協議会・福祉ボランティアセンター	1	0	6
きょうぽら・チラシ	3	1	1
その他(含知人)	6	1	7
不明	27	48	59
計	127	151	192

1-①相談内訳

- ・「Vもとむ」相談数の多くは、「わの会・京都」の対話V利用に関する相談と利用者とのコーディネートであった。
- ・「その他」については、当会の名称から多種のボランティアを想定しての内容が多い

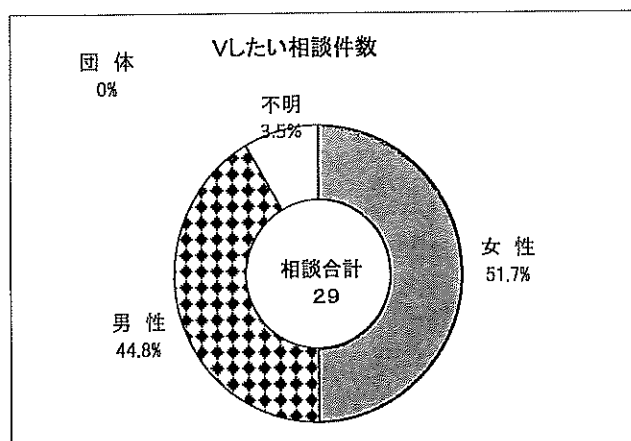
1-②協会を知った経路

- ・「リピーター」(以前に協会に依頼したことがある)の多くは「わの会・京都」の対話Vの利用者である。

\* 関係団体・者:協会会員、登録ボランティア、関係団体など

2. Vしたい相談件数

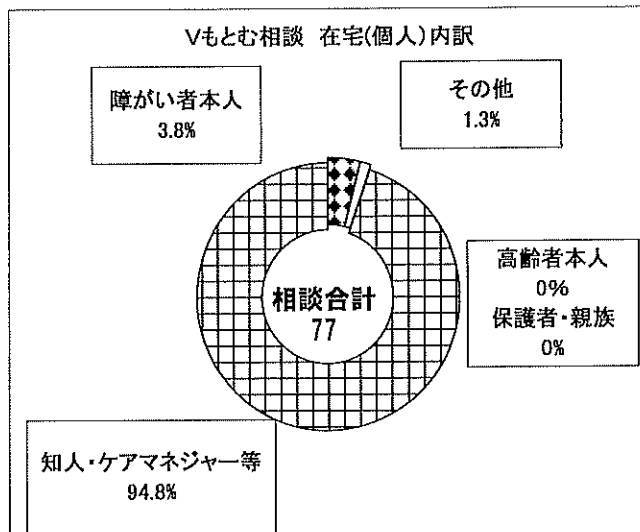
	2023年度	2022年度	2021年度
女性	15	6	9
男性	13	5	8
団体	0	1	1
不明	1	0	0
計	29	12	18



### 3. Vもとむ相談

#### 3-① Vもとむ相談 在宅(個人)内訳(相談者)

		2023年度	2022年度	2021年度
本人	高齢者	0	5	6
	障がい者	3	1	8
	その他	1	1	4
保護者・親族		0	0	3
知人・ケアマネジャー等		73	72	78
計		77	79	99



#### 3-② Vもとむ相談 団体内訳

	2023年度	2022年度	2021年度
高齢者	0	1	6
障がい者	0		0
障がい児	0		0
障がい児者	0		0
ボラセン	0		0
公的機関	0	1	1
医療機関	0		0
児童	0		0
NPO	0		2
その他	1		0
計	1	2	9



2023年度相談業務統計

1. 協会を知った経路

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
協会ホームページ	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
新聞	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リピーター	5	8	7	7	6	6	7	7	8	7	6	6	80
関係者	0	0	0	1	0	2	0	1	1	1	1	1	8
知人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社協	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
チラシ	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
その他	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	6
不明	8	2	0	1	5	0	3	3	3	2	0	0	27
計	13	10	7	12	13	15	10	11	12	10	7	7	127

リピーター: 以前に協会に依頼したことがある  
 関係者: 協会会員、登録ボランティア、関係団体など

2. Vしたい相談

①男女別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
女性	2	1	2	2	1	2	1	1	1	2	0	0	15
男性	0	1	0	2	2	1	2	2	3	1	0	0	14
団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
計	2	2	2	4	3	3	3	3	5	3	0	0	30

②相談方法

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	2	2	1	1	0	1	1	0	2	1	0	0	11
メール	0	0	1	1	3	1	0	0	0	0	0	0	6
来協	2	0	0	2	0	1	2	3	3	2	0	0	15
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	2	2	4	3	3	3	3	5	3	0	0	32

3. Vもとむ相談

①相談方法

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	0	2	0	1	1	3	0	1	0	0	1	0	9
メール	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
来協	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	5	5	5	5	5	5	7	7	8	7	6	6	71
計	5	7	6	7	6	8	7	8	8	7	7	6	82

②在宅(個人)団体別相談数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在宅	5	7	6	6	6	5	7	7	8	7	6	7	77
団体	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	5	7	6	7	6	5	7	7	8	7	6	7	78

③在宅(個人)内訳

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本人	高齢者	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4
	障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
小計		0	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	6
保護者・親族		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
知人・ケアマネジャー等		5	5	5	5	5	8	7	7	8	7	6	6	74
計		5	7	6	6	6	9	7	8	8	7	6	6	81

④団体内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障がい児者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボラセン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公共団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
医療機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
児童	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NPO	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2



# ねこのてさろん サークルグループ ご紹介

(ボランティアビューロー活性化事業)

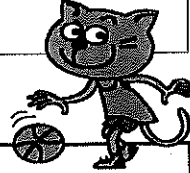
大盛況!

## 「ねこのてさろん」ってなに?

「猫の手も借りたい」、「猫の手になりたい」、「猫の手になれそうかな」と思っている人の出会いの場、また、気軽に人と出会える場、人と人をつなぐ交流の場、そして勉強や体験の場になればいいなあと、当協会がボランティアスタッフと一緒に開催している欲張りな目的をもつ「さろん」です。知り合いを増やしていきましょう! 長年にわたり下記のサークルが結成され、リーダーに支えられ楽しんでいただいています。

ただ今、企画運営ボランティアスタッフ及び参加者募集中です。



京都ボランティア協会の会員・登録ボランティアや登録団体スタッフの他、チラシやホームページを見た人、友達に誘われて参加する人もいます。社会人中心で、内容によっては幅広い年代が参加でき、ハンディの有無に関わらず参加できるよう工夫しています。



## サークル

名称	代表	日程など	内容
ボラ基クラブ(囲碁)	代表 上田二六丸 講師 有馬 忠広 (日本棋院会員五段)	毎週金曜日 午後1:30~4:30	ゆっくりと、堅実に碁の打ち方を身につけて囲碁を楽しんでいただきたいと思っています。 参加費:月200円(運営費)
トウリベル パソコン講座	講師 鈴木 辰之	毎月第1・2・3 土曜日 午前10:15~ 11:45	現在7名の会員満席。PCでできるお手紙・工作など楽しいパソコン教室です。
絵画教室	ミネマツ シゲホ (インホープ)	毎週日曜日 午後1:30~3:30	油絵など 参加費:1回100円(福祉手帳対象) 一般500円
英会話講座 京都ユネスコ英語教室	前田 久夫 (元英語教師)	毎週金曜日 午後0:15~1:15	英会話は英語力より 度胸です! FIGHT!(英語の歌もレッスン!) 参加費:月100円(資料代)
折り紙教室	青嶋 俊江	毎月第4火曜日	折り紙の可能性は無限です。楽しみながら作品を作りましょう。参加費:1回500円

## グループ (ボランティア募集中!)

わの会・京都 	代表 松本淳子	毎月第1土曜日午後1:30~ ミーティング開催(この時点で訪問先を決定)	一人暮らしのお年寄りのご自宅に2人以上で訪問し、お話し相手をして、少しでも元気を取り戻していただく、という対話型のボランティアグループです。
ちよいボラ	松井 三千	毎月第2第4木曜日 午後1:30~4:00	高齢者・障がい他 (ウエス作業・切手整理ほか)
ふれあい祭 実行委員会 	ふれあい祭ボランティア 実行委員	祭年1回 ミーティング月1回 第1又は第3土曜日 午後5:30~8:00	ボランティア一人ひとりの知恵とアイデアを活かして創りあげます。興味のある方、ボランティアに参加しませんか、募集しています。随時 祭実行委員・当日参加ボランティア募集!
コミュニティカフェ はな	なごみの居場所会	原則毎月第2第 金曜日 11:30~13:30	生活に困窮している人、なかには家を失った人、寄り辺のない人、孤立化している人がいます。そういった人たちが、笑顔で気楽に居られる場所、気楽に会話ができる場所、気安く相談できる人がいる場所です。

■ 令和5(2023)年度 評価・調査事業 受診・受審申込状況(2024/3/31現在)

(単位:件)

評価種別	①令和4年度 (2022)	②(うち令和5年度への繰越件数)	③令和5年度申込件数 (2022)	令和5年度実績					⑨=⑧/① 対前年度%	備考
				④令和5年度実施予定件数	⑤令和5年度実施件数	⑥令和5年度中止件数	⑦令和5年度実施率%	⑧(うち令和5年度への繰越件数)		
第三者評価	25	0	22	22	21	0	95.5	1	88%	
介護	16	0	14	14	14	0	100.0	0	-	
福祉	7	0	6	6	5	0	83.3	1	-	保育2 障害4
社会的養護	2	0	2	2	2	0	100.0	0	-	養護園1 乳児院1
外部評価	86	30	51	81	69	0	85.2	12	59%	
計	111	30	73	103	90	0	87.4	13	66%	

## 令和5（2023）年度 評価・調査事業 研修（勉強会）実績報告

月日	研修等テーマ	研修内容等	担当	実施状況	備考
3月～4月	介護分野の項目改訂によるフォローアップ研修	・介護分野項目改訂に伴うWEB研修を基本的に各自実施	京都介護・福祉サービス等第三者当評価支援機構	・16名修了済	
8月26日（土） 13:30～15:40	令和5年度「振り返りの会」	・令和4（2021）年度第三者評価・外部評価の実績報告および総括 ・令和5（2023）年度評価・調査事業方針、研修・勉強会計画及び評価調査者 ・課題検討 ・意見交換 等	企画運営委員会	・企画運営委員会主催 ・ボランティアビューロー ・参加者：12名	
8月31日（木） 10:00～12:00	福祉サービス：保育所に係る評価項目勉強会	石本主任調査員が講師となり、福祉サービス：保育所に係る当該評価項目の勉強会を開催	企画運営委員会	・ボランティアビューロー ・参加者：3名	
9月9日（土） 13:00～15:00	福祉サービス：保育所に係る評価項目勉強会	石本主任調査員が講師となり、福祉サービス：保育所に係る当該評価項目の勉強会を開催	企画運営委員会	・ボランティアビューロー ・参加者：4名	
9月16日（土） 15:00～17:00	介護サービス：第1回介護サービス評価項目改訂に係る評価項目勉強会	藤村主任調査員が講師となり、介護サービス評価項目改訂による勉強会を開催	企画運営委員会	・ボランティアビューロー ・参加者：6名	
10月23日（月） 14:00～15:30	介護サービス：第1回介護サービス評価項目改訂に係る評価項目勉強会	藤村主任調査員が講師となり、介護サービス評価項目改訂による勉強会を開催	企画運営委員会	・ボランティアビューロー ・参加者：6名	
10月～12月	令和5年度 介護サービス第三者評価等新規評価調査者養成研修【介護】	介護・福祉サービス第三者評価事業において評価調査者が適正に第三者評価を行なうために必要な知識および技能を修得することを目的（座学・演習・実習）	事務局	・介護分野 3名 （修了2名、途中辞退1名）	
10月23日（月） 13:00～14:00	審査委員と評価調査者との意見交換会	・審査委員から講評をお聞きし、今後の訪問調査に活かせることを目的とし、報告書作成にあたり表現方法などを学ぶ ・併せて、訪問調査にあたっての課題や疑問などを話し合った	企画運営委員会	・ボランティアビューロー ・参加者：14名	
12月～2月	令和5年度 外部評価新規評価調査員養成研修	地域密着型サービス外部評価等事業において評価調査者が適正に外部評価を行なうために必要な知識および技能を修得することを目的（座学（WEB視聴・実習・ZOOM講習））	事務局	・3名 （修了名）	
12月9日（土） 13:00～15:00	Excel操作勉強会【基礎編】	・講師は鈴木先生 ・評価対比シート作成に伴い、円滑なExcel操作の習得を目的	事務局	・ボランティアビューロー ・参加者：6名	

# 2023(令和5)年度カレンダー

## 2023年

### 4月

- 5日(火) 幸せの黄色いレシートキャンペーン 贈呈式
- 22日(土) 第13回京ボラふれあい祭実行委員会
- 25日(火) 第三者評価機構連絡会議
- 27日(木) 「ひと・まち交流館 京都」共同管理委員会
- 29日(土) 調査・評価事業企画運営委員会

### 5月

- 9日(火) 広報・ICT推進委員会
- 22日(月) 調査員報酬検討委員会
- 25日(木) 「ひと・まち交流館 京都」共同管理委員会
- 27日(土) 評価・評価事業企画・運営委員会
- 27日(土) 第13回京ボラふれあい祭実行委員会
- 30日(火) 会計監査
- 31日(火) 定例理事会

### 6月

- 5日(月) いのちの交流会準備会
- 6日(火) オムロンヒューマン賞授賞式
- 18日(日) 2023年度定時総会
- 19日(月) 調査・評価事業に関する京都府との懇談会
- 22日(木) 「ひと・まち交流館 京都」共同管理委員会
- 24日(土) 調査・評価事業企画運営委員会
- 24日(土) 第13回京ボラふれあい祭実行委員会

### 7月

- 22日(土) 第13回京ボラふれあい祭実行委員会
- 24日(月) 「コミュニティカフェ はな」推進会議
- 25日(火) 京都府社会福祉大会打ち合わせ会議
- 26日(水) 調査・評価事業企画運営委員会
- 27日(木) 「ひと・まち交流館 京都」共同管理委員会

### 8月

- 1日(火) 広報・ICT推進委員会
- 10日(木) ボランティア活動推進委員会
- 17日(木) 「コミュニティカフェ はな」推進会議
- 24日(木) 「ひと・まち交流館 京都」共同管理委員会
- 26日(土) 調査・評価事業企画運営委員会
- 26日(土) 第13回京ボラふれあい祭実行委員会

### 9月

- 5日(火) 京都府社会福祉大会
- 16日(土) 調査・評価事業企画運営委員会
- 16日(土) 第13回京ボラふれあい祭実行委員会
- 23日(土) ボランティア活動推進委員会
- 28日(木) 「ひと・まち交流館 京都」共同管理委員会
- 29日(金) 「コミュニティカフェ はな」

### 10月

- 1日(日) 共同募金運動開始式典・街頭啓発募金活動

- 10日(火) 定例理事会

- 14日(土) 第13回京ボラふれあい祭実行委員会
- 20日(金) 「コミュニティカフェ はな」
- 23日(月) 調査・評価事業企画運営委員会
- 26日(木) 「ひと・まち交流館 京都」共同管理委員会
- 28日(土) 第13回京ボラふれあい祭実行委員会

### 11月

- 11日(土) 第13回京ボラふれあい祭実行委員会
- 10日(金) 「コミュニティカフェ はな」
- 16日(木) 「ひと・まち交流館 京都」共同管理委員会
- 19日(日) 第13回京ボラふれあい祭

### 12月

- 4日(月) ボランティア活動推進委員会
- 8日(金) 「コミュニティカフェ はな」  
広報・ICT推進委員会
- 9日(土) 第13回京ボラふれあい祭実行委員会(反省会)
- 11日(月) 「コミュニティカフェ はな」推進会議
- 19日(火) 「ひと・まち交流館 京都」火災避難訓練
- 21日(木) 「ひと・まち交流館 京都」共同管理委員会

## 2024年

### 1月

- 13日(土) 調査・評価事業企画運営委員会
- 19日(金) 「コミュニティカフェ はな」
- 22日(月) 京都市社会福祉大会
- 25日(木) 「ひと・まち交流館 京都」共同管理委員会
- 26日(金) 第三者評価機関連絡会議
- 27日(土) 調査・評価事業「公開講座」
- 29日(月) 定例理事会

### 2月

- 5日(月) ボランティア活動推進委員会
- 7日(水) 調査・評価事業企画運営委員会
- 9日(金) 「コミュニティカフェ はな」
- 19日(月) 対話ボランティア講座(第1回目)
- 22日(木) 被表彰者推薦委員会
- 22日(木) 「ひと・まち交流館 京都」共同管理委員会
- 26日(月) 広報・ICT推進委員会

### 3月

- 6日(月) 定例理事会
- 8日(木) 「コミュニティカフェ はな」
- 14日(木) 「コミュニティカフェ はな」推進会議
- 20日(水) 調査・評価事業企画運営委員会
- 22日(木) 「ひと・まち交流館 京都」共同管理委員会
- 28日(木) 定例理事会
- 30日(土) 第14回京ボラふれあい祭準備会